

2023 年度 第 3 回 OR 学会理事会 議事録

日時：2023 年 7 月 28 日(金) 17:00~18:30

場所：中央大学とオンラインのハイブリッド開催

出席理事(対面)：山上，猿渡，三好，所，宮川，鶴飼，塩野，谷崎，鳥海，木庭，佐々木，林，堀

出席理事(オンライン)：森永，関谷

出席監事：根本

欠席理事：牧野，後藤，辻野

欠席監事：三嶋，

オブザーバー：河東

事務局：長谷

庶務幹事：伊藤（書紀）

【オブザーバーについて】 欠席の三嶋監事（三菱電機(株)）へ理事会の審議内容を伝えるため，河東氏（三菱電機（株)）がオブザーバー参加することが承認された。

【審議事項】

A-1. 前回議事録の確認（所庶務理事）

所庶務理事より，前回議事録の確認があり，承認された。

A-2. 入会・退会承認の件（所庶務理事）

所庶務理事より，2023 年 7 月 10 日までの入会・退会状況についての説明があり，承認された。

A-3. 2023 年度 Q1 収支の件（後藤会計理事）

欠席の後藤会計理事に代わり所庶務理事より，2023 年度 Q1 収支について説明があり，承認された。なお，前年度同月比で約 456 万円のマイナスとなっている原因としては，会費納入のシステム変更による納入遅延が原因と推測される旨が報告された。

- ・ 鳥海無任所理事より，近藤賞の賞金 100 万円については特定資産から捻出する予定であり，2023 年度全体の収支には影響を与えないとの補足説明があった。
- ・ 山上会長から学会誌の電子化による印刷費の削減効果について質問があり，長谷事務局より，3～4 月は冊子体希望者が新たに増えた場合に備えて印刷部数を減らしておらず，効果が出るのは 5 月以降と考えられるとの回答があった。また，冊子体希望者は正会員で 100 名程度であるが，固定費部分の割合が大きいため，印刷部数を減

らすことによる支出削減効果は小さいとの補足説明があった。印刷費の削減については、契約する印刷会社の変更を含め、今後も引き続き検討を進めていくこととなった。

- ・ 長谷事務局長から、会費未納の会員に対して催促メールを送信したところ、これまでに 62 件の納入があったこと、メールを送信しても未納の会員には払込票を郵送する予定であることが説明された。会費未納の件に関しては、Q2 の結果も見た上で議論することとなった。

A-4. 2023 年の第 41 回学生論文賞の推薦の件（三好表彰委員長）

三好表彰委員長より学生論文賞の推薦について説明があった。学会ウェブページと機関誌に論文の要約が記載される予定であると説明があった。本議案は、承認された。

A-5. 2024 年支部事業費の件（林研究理事）

林研究理事より 2024 年度支部事業費を 40 万円にてお願いしたい旨の説明があり、承認された。また、学会の財政状況が改善したら、元に戻してほしいという意見があるため、将来的に 70 万円に戻すことも検討する旨が述べられた。

- ・ 山上会長より、学会の財産処理のタスクフォースを 8 月に実施予定であり、支部事業費を 70 万円に戻したいという意向があれば、本タスクフォースで議論することも可能であると説明があった。鳥海無任所理事より、支部事業費・運営費の分け方などの見直しも含めて検討しても良いと意見があった。佐々木大会理事より、支部の幹事とも話し合いを進めていく旨が返答された。

A-6. 2023 年度広報委員変更の件（塩野広報理事）

塩野広報理事より、2023 年度広報委員の退任について、説明があった。監事が広報委員を兼務していた件については、兼務することに特別な理由はないことが確認されたため、当該監事については広報委員を退任することで対応する旨が説明された。本議案は、承認された。

A-7. 研究普及委員の追加の件（堀普及理事・林研究理事）

堀普及理事より普及委員の追加、および林研究理事より研究普及委員の変更について、説明があり、承認された。

- ・ 猿渡副会長より、研究普及委員は支部長の推薦で人選しているか質問があり、林研究理事より、委員が交代する場合はあらかじめ支部で話がついてから、支部長に交代を申し出ていると認識している旨が返答された。
- ・ 山上会長から、委員会の委員変更は審議事項ではなく、委員長の決定事項としての報告で良いのではないかと意見があり、鳥海無任所理事より規定の変更で可能である旨が述べられた。また、猿渡副委員長より、どの委員会がどれくらいのボリュームで動

いているかの情報は共有したほうが良いと意見があった。

【報告事項】

B-1. 第 51 回企業事例交流会準備状況の件（堀普及理事）

堀普及理事より、第 51 回企業事例交流会準備状況について報告がなされた。

B-2. 2023 年度第 1 回 OR セミナー実施報告（堀普及理事）

堀普及理事より、2023 年度第 1 回 OR セミナーの実施報告がなされた。

B-3. 2023 年度第 2 回 OR セミナー実施報告（堀普及理事）

堀普及理事より、2023 年度第 2 回 OR セミナーの実施報告がなされた。

- ・ 猿渡副会長より、開催形態は、ハイブリッド・対面・オンラインのどれをメインにしていくのか質問があった。堀普及理事より、ハイブリッドは人間的な負荷が高いと認識しており、例えば 3 回のうちハイブリッド 1 回、対面 2 回にしたら丁度よいと思われる旨、返答があった。

B-4. IFORS 会長懇談の件（鶴飼国際理事）

鶴飼国際理事より、IFORS 会長との会談について報告がなされた。

- ・ 2032 年 IFORS の日本開催の打診を受けた件について、山上会長より国際学会だと企業参画を促すこともできるので、ぜひ検討してはどうかと意見が上がった。鶴飼国際理事より日本開催を検討するのであれば、5～6 年後に委員会を立ち上げるタイムスケジュールになると述べられ、今後引き続き検討していくこととなった。

B-5. 学会賞メダル版下の件（三好表彰委員長・長谷事務局長）

長谷事務局長より、学会賞メダル作成の準備について報告がなされた。

B-6. 電子版機関誌広告の件（所庶務理事）

所庶務理事より、電子版機関誌広告の掲載修正案について説明があった。構造計画研究所と NTT データ数理システムからはこの修正案で承認を得ているが、コロナ社の広告が新たに入るので承認を進める予定である旨が説明された。

- ・ 塩野広報理事より、紙ベースで考えられている企業広告の掲載については、賛助会員の事例掲載などを含め、学会ホームページの活用を含めて今後検討していく旨が説明された。また、INFORMS のウェブページ掲載場所について、サイトマップの修正も含めて検討を進める旨が説明された。
- ・ 関谷編集理事より、機関誌のホームページの編集権限は編集委員にあるが、広告掲載などの対応は技術的に困難であることが述べられた。鳥海無任所理事より、ホームペ

ージ編集については、スクリプト更新などによりサポート可能であることが返答された。関谷編集理事より今後相談していく旨が述べられた。

B-7. 次回理事会の件（所庶務理事）

所庶務理事より次回理事会に説明がなされた。

その他

- ・ 根本監事より、「選挙管理委員長は監事が行う」と定款に記載されていたこと確認したが、監事がこの業務に就くのは構造上よろしくないという意見を持っているため、本件について今後検討してほしい旨が述べられた。本件の経緯について猿渡副会長より確認を進める旨、確認がなされた。

以上
書記: 伊藤勝

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
2023年度第3回理事会
議事録署名人

議長(会長) 代表理事 山 上 伸

(副会長) 代表理事 猿 渡 康 文

(副会長) 代表理事 三 好 直 人

(副会長) 代表理事 森 永 聡

監事 根 本 俊 男